

祝 2025年春 旭日小綬章受章

刈屋建設代表取締役で岩手県建設業協会会長の向井田岳氏が建設事業功労として2025年春の叙勲で旭日小綬章を受章した。積極果敢な行動力と強い信念をもって公共の福祉に寄与し、地域経済社会の発展に大きく貢献してきた向井田氏に、今後の協会活動の展望などを伺った。

刈屋建設代表取締役
向井田 岳 1980年生まれ
1996年5月〜2002年6月
岩手県建設業協会青年部
連絡協議会会長
1978年3月
国土建設学院卒業
職歴
1978年4月
刈屋建設工事課職員
1993年4月
同社専務取締役
2004年3月
同社代表取締役

向井田 岳氏
に聞く



情報伝達機器運用開始式で機器の説明等を行う向井田岩建協副会長（2012年9月3日 当時）

ど、さまざまな課題に対応しなければなりません。会員には中小零細企業が多いです。中小零細企業は小回りは効くのですが、がんじがらめにするとその小回りが効かなくなるんです。時代の要請とはいえ、課題が多すぎます。例えばICT対応の県営工事は、国のレベルを求めるのではなく、県レベルで中小向けのレベルを設定するなど、柔軟に対応できるようにして欲しいですね。

思い出に残っている仕事は。

向井田 1980年5月に台風3号による大雨により早池峰山で大規模な土石流が発生しました。その復旧工事に現場代理人として営林署所管治山ダム建設に携わりました。大規模な現場で厳しい環境の中での仕事でしたが、無事に完成させたことが思い出に残っています。会社としても、飛躍のきっかけになった仕事です。

今後の抱負を

向井田 地域にとって建設業というのは無くてならない存在です。会員の皆さんには地域を支えるという強い気概を持って欲しいです。協会としてもそのお手伝いができればと考えています。それから建設業という仕事に誇りを持つてほしいですね。そのために、大変なことも多々あるかと思いますが、ともにによりよい業界を目指していきたいです。

趣味はありますか。

向井田 趣味というよりも、いろんな人の話を聞くことが好きです。立場上、発注者との意見交換もありますが、本当のことを伝え、情報を共有し、その実態に合わせた施策を考える。このようなことが大事だと思っています。これからも日々ではなく、現場ではこうですと、ありのままを伝えていきたいですね。

ありがとうございました。



岩手県との意見交換会（2024年9月）



2025年春の叙勲で旭日小綬章を受章されました。

向井田 建設事業功労により図らずも旭日小授章の栄に浴しました。岩手県建設業協会会長を務める身でもあり、今回の受章は会員の皆さまの代表として受章できたと考えています。

岩手県建設業協会の役員としてこれまで精力的に活動されています。

向井田 2010年5月に副会長に就任しました。その翌年3月に東日本大震災が発災し、協会は道路啓開や応急復旧、そして本格復旧と復興に取り組みました。建設業協会会員の組織力、団結力を持って対応に当たりました。震災から14年が経過し、予算的には震災前以下に落ち込んでいます。労務費や資材の高騰もありますが、ここで踏ん張り、地域のために存続させるための活動をこれからも展開していきたいですね。当時、思ったのは、やはり地域の建設業、建設業協会会員が、地域の皆さんのために



2011年3月14日に開かれた岩建協緊急支部長会議

なくてはならない存在だということです。逆にいうと、われわれが頑張らないと、地域に元気が出ないんです。建設業は、警察、消防と同じようになくてはならない存在であり、公共的な要素もあります。われわれは、公共工事を請け負っています。震災前の厳しい冬の時代に戻ったと考えていますが、ここで踏ん張らなければなりません。担い手不足、働き方改革など、いろんな意味で会社を経営していくのが厳しいと感じています。ですが、会員の協会の皆さんとともに力を合わせ、この難局を乗り越えていきます。

近年、甚大な災害が多発しています。



岩建協は3月11日を「防災の日」と定め、毎年災害情報伝達訓練を実施

向井田 東日本大震災発災時、9代目の宇部貞宏会長に對し、想定外のことが起こったと言いました。すると宇部会長が「いやいや歴史をたどればこれと同じ規模かそれ以上大規模な災害が起った言はるんだ。想定外という発言はするな」とおっしゃいました。確かに大規模な災害に対する対応策を練っておかなければならなかったと痛感しました。東日本大震災の発災直後は、岩手県内全域で固定・携帯電話が不通になりました。私が副会長に就任した以降も、広報委員会委員長およびIT部会の部会長を兼任していました。県内全域を網羅する通信手段を確保できていれば、協会の組織力とネットワークを活かして、より一層迅速で効果的な支援が可能だったと悔みました。そこで、機能面と運用面、維持コストなど多方面な視点から検

2020年5月に会長に就任しました。

向井田 今年で6年目になります。生意気かもしれませんが、副会長時代から「東日本大震災発災後の工事業のレベルは

向井田 現場で「こういうことが問題があり、こうして欲しい」という、生の声を届けたいですね。インボイス、働き方改革な

一貫して建設事業に精励し、
地域社会の発展に大きく貢献

ご受章を心よりお祝い申し上げます。

有限会社 因幡鉄筋工業所 代表取締役 因幡 幸助 岩手県宮古市松山五一七一一 ☎〇一九三（六四）一八五三		豊島建設株式会社 代表取締役 紀室 裕哉 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森六一八 ☎〇一九二（二五）一一六五	
岩手大丸コンクリート株式会社 代表取締役 千田 忠味 岩手県花巻市東和町前田二一三三七 ☎〇一九八（四二）四七五五		株式会社 畑 中 組 代表取締役 畑 中 善四郎 岩手県下閉伊郡岩泉町門字中瀬五一二四 ☎〇一九四（二五）五三一	
ONOSHIN株式会社 代表取締役 小野 友寛 岩手県下閉伊郡岩泉町門字中瀬五一一八 ☎〇一九四（二五）五一五七		東野建設工業株式会社 代表取締役社長 東野 久晃 盛岡市加賀野二八一一五 ☎〇一九（六五）三三八八	
株式会社 小 原 建設 代表取締役社長 小 原 学 岩手県北上市村崎野五一三二二一八 ☎〇一九七（六六）三一二五		株式会社 平 野 組 代表取締役社長 須田 光宏 岩手県一関市竹山町六四一四 ☎〇一九一（二六）三七一一	
株式会社 小 山 田 組 代表取締役 小山田 大助 岩手県宮古市刈屋一〇一五一 ☎〇一九三（七二）二八七三		南建設株式会社 代表取締役社長 南 勉 岩手県九戸郡軽米町晴山二二四六一 ☎〇一九五（四七）一〇〇〇	
工藤建設株式会社 代表取締役社長 蜂谷 剛司 岩手県奥州市水沢真城字北館三八一 ☎〇一九七（二三）四六四二		宮城建設株式会社 代表取締役社長 菅原 博之 岩手県久慈市新中の橋四一三五一三 ☎〇一九四（五二）一一二一	
株式会社 佐 賀 組 代表取締役 高橋 賢 岩手県大船渡市盛岡字田中島二七一 ☎〇一九二（二七）七三三一		株式会社 村山電機商会 代表取締役 村山 利一 岩手県宮古市南町一五一五 ☎〇一九三（六二）六一五九	
沢与建設株式会社 代表取締役 佐藤 隆一 岩手県宮古市山口一二二二七 ☎〇一九三（六三）一一五七		株式会社 山 下 組 代表取締役社長 菅原 陽一 岩手県花巻市上根字石川原七八一 ☎〇一九八（二二）二一一一	
三陸生コン株式会社 代表取締役 城内 隆美 岩手県宮古市上鼻二一四八二 ☎〇一九三（六二）一四八二		株式会社 山 元 代表取締役社長 山元 一輝 岩手県釜石市只越町二一六二〇 ☎〇一九三（二二）一八〇五	
昭栄建設株式会社 代表取締役社長 武田 克彦 盛岡市上堂四一一一八 ☎〇一九（六四）二二二二		陸中建設株式会社 代表取締役 伊藤 峻 岩手県宮古市宮町一三三三五 ☎〇一九三（六二）三四六七	
株式会社 テ ラ 代表取締役社長 三浦 一 岩手県遠野市青笹町中沢二一五二 ☎〇一九八（六二）三〇五三		菱和建設株式会社 代表取締役会長 海野 尚 代表取締役社長 菊池 奨 盛岡市みたちけ一六一三〇 ☎〇一九（六四）一一一一	